

# 井草会会報

発行 昭和56年9月5日 第19号

## 新「井草会会員名簿」作製決定

### ——ただ今、予約受付中——

去る四月十二日に行なわれました井草会幹事総会におきまして、従来よりの懸案でありました新しい「井草会会員名簿」の作製を決定し、来年三月発行の予定で現在その編集準備に取りかかっております。

す。

現在ある「井草会会員名簿」は昭和五十三年八月に作製したものですが、町名変更、あるいは転宅などにより、住所不明者が多くなってきており、新しい会員名簿の発行が急務になっておりました。

しかし、ひと口に名簿の発行といいましても、皆様ご承知の通り、最今の物価高から、今の井草会の財政状態においては、おいそれと作業も出来ません。現在、三年に一回は何とか新しい名簿を作製しようと幹事会としても努力を続けておりますので、同窓生の皆様には今まで以上の物心両面におけるご援助をお願い致します。

また、現在の会員名簿のうち、二割近い卒業生の住所が不明になつておりますが、幹事会としましては、より完全な名簿を作製したいと考えておりますので、この点でも皆様のご協力をお願い致します。

つきましては、当「井草会会報」と一緒に皆様の方々の住所不明者リ

ストを同封してございますので、不明者の住所をお知りの方は、一人でも二人でも結構ですから、十月末迄に井草会まで是非ご一報下さい。

尚、新「井草会会員名簿」は一部二千三百円（送料込み）で、全て前払い予約制になっております。購入ご希望の方は、同送の郵便振込み用紙をご利用下さい（払込料金は無料）。

また、新名簿の発送は来年三月中頃の予定ですでの、近々ご転宅予定の方は、その旨、通信欄に明記下さい。

お詫び 五十三年度版の会員名簿が在庫切れのため、今年度になつて名簿購入を希望された方のうち、一部

の方々には名簿が未発送になつておりますが、それらの方々には新名簿が出来上り次第送付いたしますのでご諒承下さい。

## 井草会新役員決定

去る4月12日に行なわれました井草会幹事総会におきまして左記の通り新役員が決定しました。尚、任期は二年間です。

幹事会合宿は年七・八回、日曜日の午後から行なわれる幹事会では、同窓会の抱えている諸問題について議論するにはあまりにも時間が少ないとということで、年一回夏休みを利用して幹事が集まり、集中的に同窓会の展望などについて語り合おうということで実施されています。

今回の合宿には十七名が参加し、まずはじめに名簿作製の進捗状況の報告及び今後のスケジュールの検討を行ない、来年三月発行予定を再確認しました。次に同窓会並びに幹事会のあり方について突っ込んだ意見の交換が行なわれ、同窓会としてはいくつかの改善しなければならない点が明らかにされ、今後の幹事会の活動のなかで徐々に改善して行くことを決意して、討論を終了しました。

尚、当は杉山元校長先生・清水現校長先生をはじめ二十数名の恩師の方々と、百名近く卒業生が一堂に会いました。卒業生一万名を数える同窓会としては、多少参加者が少ない感じでしたが、それだけに参加者は恩師・旧友との再会の喜びをゆきり味わうことができ、楽しい歓談のひとときを過ごすことができました。

尚、今年度は名簿作製に力を注ぐため、同窓会は開催いたしませんが、来年度は従来通り五月の第三、あるいは第四日曜日に同窓会を開催する予定であります。

生をはじめ二十数名の恩師の方々と、百名近く卒業生が一堂に会いました。卒業生一万名を数える同窓会としては、多少参加者が少ない感じでしたが、それだけに参加者は恩師・旧友との再会の喜びをゆきり味わうことができ、楽しい歓談のひとときを過ごすことができました。

## 同窓会開催される

## 昭和55年度決算及び 昭和56年度予算

4月12日の幹事総会で、下記の通り成立致しました。

### [昭和55年度決算]

#### ◎収入の部

新入会員会費	812,000
前年度繰越金	1,005,134
会費	407,000
寄付金	390,000
雑収入	219,434
(内、名簿代	195,300)
計	2,833,568

#### ◎支出の部

同窓会館改善費	40,000
井草会会報印刷費	90,000
" 発送費	575,140
同窓会開催費	586,340
幹事会・役員会費	119,650
交通費	13,710
事務費	30,200
雑費	60,175
(内、名簿郵送代	2,420)
次年度繰越金	1,318,353
計	2,833,568

### [昭和56年度予算]

#### ◎収入の部

新入会員会費	810,000
前年度繰越金	1,318,353
会費	200,000
寄付金	200,000
雑収入	50,000
計	2,578,353

#### ◎支出の部

同窓会館改善費	250,000
井草会会報印刷費	120,000
" 発送費	780,000
幹事会・役員会費	200,000
交通費	50,000
事務費	100,000
名簿作製準備費	800,000
予備費・雑費	270,000
次年度繰越金	8,353
計	2,578,353

## 井草高校の伝統ある歴史と共に同窓会も前進を

同窓会会长 野 呂 優

る。

以上、木造三棟をすみやかに撤去し、一括して鉄筋校舎に増改築し、さらに内部諸施設を整備してもらえるよう、学校当局およびPTAの方々が都の教育

方々が常時参加しているという事実などから、何か魅力ある企画を積極的にうちださなくてはと思案をしておりました。何か良いカンフル剤がありましたら、お教え下さい。

井草高同窓会執行部も、若い幹事の皆さんが中心になって、同窓生名簿の作成、会報、総会会費徴収など身近な地味な仕事をこつこつ続けています。この夏も、三日間、セミナーを開催し、「曲がりかどにきた、同窓会をいかに運営していくか」について、激論をたたかわせます。

母校井草高校の伝統ある歴史と共に、よりよい同窓会に前進していくには、まず卒業生全員の皆様方からの資金面での御援助をお願いしなければなりません。年会会費の納入と積極的な御寄付をお是非ともお願いいたします。

最後に、母校井草高校の発展と共に、各分野におきまして、卒業生の皆様方がますます御活躍なさいます事を節にお祈りいたします。



井草高校卒一万二千余名の同窓生の皆様にはますます御元気に御活躍のことと存じます。我が母校井草高校は昭和十六年一月二十七日に創立されて以来、四十一年の永きにわたり、歴史と伝統をはぐくんで今日に至っています。この間、昭和四十五年には水泳プールが、昭和五十年には立派な体育館も完成し、まさに「練馬の地に井草高あり」といった感がいたします。しかし、周囲の都立高校と比べた場合、まだまだ教育環境の整備は不充分だと思われます。

最初に、老朽化しつつある木造校舎の現状を少しひックアップし、御紹介いたします。

一、木造校舎A棟は昭和三十四年度の建築物(耐火木造二階鉄板葺)で、現在、美術教室、同準備室、社会科教室等に使用しているが、老朽化が甚だしく昭和五十四年十月十九日の台風により、屋根全体がはがれ飛び、近隣民家に落下し、被害を与える等、危険な状態である。

二、木造校舎B棟は昭和三十八年度の仮設建築物(軽骨一階建スレート葺)で、現在、倉庫およびクラブ部室として使用しているが、老朽化が甚だしく、しかも運動場側に突出しているため、体育活動にも大きな障害となつていい

いたしました。当日は、杉山文雄元校長先生をはじめ四人の校長先生方は、じめ二十数名の先生方の御臨席を賜りました。ただ残念な事に、卒業生の参加者が約百名前後とかなり低調でした。たしかに、ひと昔前と異なり、約98ペーセントの井草高学生が大学まで

は短大へ進学している現在では、若い層の方々の井草高への愛着というものが、かなり希薄になりつつあることも、一因であると思われます。しかし、運動部のOBA会などでは、五十人以上の

(耐火木)

(現在、明治薬科大学助教授 理学博士)

# 寄付者一覧

昭和五十二年より井草会への寄付を広く募っておりますが、五十五年六月より今年三月までの間に左記の方々から、井草会へ寄付をいただきましたので、誌上を借りて感謝の意を表します。

尚、井草会も何かと財政難の上、今年度は卒業生名簿の作製という事業を行なうことになつておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

(数字は一口千円の口数。順不同。敬称は略させていただきます)

高女一回

- 田中和子1・津田敏子1・仲代啓子1
- 矢島昭子2・岩村トシ子10・堤恭子3
- 大木千代1・後藤葉子1・増沢さだ子1
- 平田ひろ1・原芳子4・曾根原京子
- 2・桑田千鶴子2

高女二回

- 大坪和子5・富樫久美子1・石井敏子1
- 本多静江1・菊谷ひろ3・宇田川和子3
- 土手千恵子3

高女三回

- 松本恭子1・国分和子1・塚田楨子4

高女四回

- 永岡富美子3・阿部妙子9・登坂美佐子2・花島みさ子3・川名郁子1・松風茂子1・遠藤安子1・斎藤衣子4・真壁信代3・藤田佐久子3・高村京子2・袴田光子2

高校一回

- 佐野幸子2・大寄洋子1・菅沼登志子

高校十回

- 木村芳江1・三輪哉2・鈴木直子1

1・金沢葵4

名方幸彦4

1・金沢葵4

名方幸彦4

高校二十三回

小田部家紀1・田中貞子1・茂木美絵

1・戸田裕子4・大槻節子2・押阪ア

高校二十四回

小山裕子1・井上晴夫1・佐々木真理

高校二十九回

山中スミ子1・上野浩1・細野泰代

9・山下正1・佐々木艶子1・八百洋子1・大石せつ子1・笠井貴征2

高校二十六回

香川洋一郎1・杉浦宏和1・山崎武雄

2・中森由美1・島嵩晴美1

高校二十七回

森理薫子1・渡辺高登1・黒沢鍊二1

尾野純子5・山本卓1・高松範幸1

高校二十八回

原田美代子1・小出久美1・小泉博美

1・島崎恵美子2

高校二十九回

菅谷公江1・前島哲郎1・梶川智子1

安井睦2

高校三十回

未松由紀子1・市川みね子1・田中穂積4

上田哲郎2・津川知久2・原田茂理1

高校三十一回

米津匡子1・大場肇1

1・磯部孝夫1・斎藤明子4・大谷吉史4・篠塚明2

高校三十二回

三菱銀行高田馬場支店

口座番号〇五三四三〇三七〇一番

井草会

第一勧業銀行高田馬場支店  
口座番号〇六四一一四七三四六番  
井草会 築山俊一行

—銀行口座—

田中英明3・内藤知文1・能登進1

北島久司2・鈴木正光4・奥山みちよ

会費の支払いに銀行振込みもご利用ください。

1・磯部孝夫1・斎藤明子4・大谷吉史4・篠塚明2

高校三十四回

上田哲郎2・津川知久2・原田茂理1

米津匡子1・大場肇1

高校三十五回

三菱銀行高田馬場支店

口座番号〇五三四三〇三七〇一番

井草会

第一勧業銀行高田馬場支店

口座番号〇六四一一四七三四六番

井草会 築山俊一行

今年の

井草生の進学先は…。

東大 かるうじて 一名

ある週刊誌の調査によると（よほどヒマな記者のいる雑誌社だね）、井草生の今年の主な大学別合格者数は左記の通りだそうである（勿論、一人で二・三校受かった人もいるから延べ人数）。

何も東大の合格者数が多い学校が“いい高校”とは思わないが（負惜しみではなく本當だよ）、井草生の東大合格者は今年も一名だけ（現役か浪人かは未確認）。それはともかく、まあ見てやつてくれたまえ。井草生もなかなか頑張っているではないかな。



毎日、小学生と生活していると、本当に驚くことばかりである。比較するのは、自分が小学生の頃のことであるが、あまりのちがいにびっくりしている。  
とにかく、なんでも器用にとり入れて、よくこなしていく。音楽美術等の芸術感覚など、「これが小学生の作品?」といふくらい素晴らしい。スポーツも、ちょっと注意してやると、すぐ身軽になす。一人ができると、みんながそれに、「右へならえ」で上達していく。非常に鋭い感覚を持っている。

こんな素晴らしい能力を持つてゐる子どもたちに、いつも、不満を感じてゐる点がある。いろいろな情報を取り入れていく能力が優れていいが、その情報の善悪を判断すること、T・P・Oに応じた態度を考えることが、ほとんど行なわれていないことである。また、言葉使いが悪いこともある。ごく簡単に言えば、「礼儀知らず」ということだらうか。情報の多くはテレビから得るので、あらうが、相手を傷つけたり、バカにしたり、不快にするような言葉や態度が、あまり多く学校・地域にとびかっているよう

とんどできない。  
朝、学校内で先生に会つても、  
担任に会つても、  
あいさつができる  
ない。「ありが  
とう。」や「ご  
めんなさい。」  
などは、こちら  
がさいそくしな

うるさいおばさん”の悩み

戶

鈴子

子

卷六

文  
俞

いと言えない。先生から名前を呼ばれても返事はないで「なんか用か?」という態度である。注意すると、「うるせえ…。」という返事。一人の子がちよつとしたミスをすると、笑いながら大声で言いある。髪を切った子には、「オエ…。」自分が忘れ物をしたのに、「オイ、貸せよ。」「なんだ、だせ…な。」もちろん、ありがとうは言わない。——などと挙げていけばきりがない。こういう傾向は男の子に多いと思っていたが、最近、特に目につく非礼な言葉や態度は、女の子に多い。この点も気になるところである。